

リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業 について

2024年11月15日
経済産業省 産業人材課

本事業の背景

- 政府としては、三位一体の労働市場改革の柱の一つに「リ・スキリングによる能力向上支援」を掲げ、各種支援策を講じることで、労働移動の円滑化や構造的賃上げを通じた日本経済の持続的成長を目指している。

三位一体の労働市場改革の指針（2023年5月策定）

※主な施策を抜粋

① リ・スキリングによる能力向上支援

- 個人への直接支援の拡充
- 雇用調整助成金の見直し
- デジタル分野などの認定講座の拡充
- 給与所得控除におけるリ・スキリング費用控除の柔軟化

② 個々の企業の実態に応じた職務給の導入

- 職務給の個々の企業の実態に合った導入
- 給与制度・雇用制度の透明性の確保

③ 成長分野への労働移動の円滑化

- 失業給付制度の見直し
- 自己都合退職に対する障壁の除去
- 求人・求職・キャリアアップに関する官民情報共有

<参考> 石破総理所信表明演説（2024年10月4日）

強靱で持続性ある「稼げる日本」の再構築のためには、教育やリ・スキリングなどの人的資源への最大限の投資が不可欠です。人生のあらゆる局面で何度でも必要な学びが得られる体制を整備します。

リスキリング関連の主な施策 一覧

第8回リカレント教育の推進に係る関係省庁連絡会議資料（2024年9月）を一部差し替え

支援対象	企業	<p>○第四次産業革命スキル習得講座認定制度 IT、データ活用等の分野において、キャリアアップに繋がるような専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定。 経済産業省</p> <p>○デジタル人材育成プラットフォーム (令和7年度概算9億円) 地域のDX加速に必要なデジタル人材を育成するため、デジタル人材育成プラットフォームにおいて、スキル標準に紐付ける形で民間事業者等と連携したコンテンツの集約・提示等を実施するとともに、個々人の保有スキルの蓄積や取得スキルのデジタル証明等を可能とする情報基盤を構築。 経済産業省</p> <p>○人材開発支援助成金の「人への投資促進コース」、 「事業展開等リスキリング支援コース」 (令和7年度概算569億円) 労働者がスキルアップのため自発的に受講する訓練等を支援する企業や新規事業の立ち上げなどに伴って職務が変更となる従業員に必要な訓練を行う企業への支援を実施。 厚生労働省</p>	<p>○キャリアコンサルタントの機能強化等 (令和7年度概算41億円) 労働者のキャリア形成やリスキリングの取組を促すための相談支援事業等の拡充。 厚生労働省</p> <p>○生産性向上人材育成支援センター (令和7年度概算562億円の内数) 中小企業等に対する人材育成に関する相談、人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで一貫して支援する総合窓口。 厚生労働省</p> <p>○中小企業リスキリング支援事業 (令和7年度概算2.5億円)【新規】 中小企業の人材育成等に関する専門的な助言・指導による支援。 厚生労働省</p> <p>○団体等検定制 (令和7年度概算0.69億円)【新規】 スキルの階層化・標準化に向けた幅広い職種における団体等検定制の活用促進に向けた施策。 厚生労働省</p>	
		個人	<p>○リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業 (令和4年度補正753億円、令和5年度補正97億円) 個人に対して、キャリア相談からリスキリング、転職までを一体的に支援する仕組み整備に要する費用を民間事業者経由で補助。 経済産業省</p> <p>○地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業 (令和5年度補正1.4億円) 地域における人材ニーズの把握や、経営者向けのプログラム開発など、大学や自治体等がリカレント教育のプラットフォームを構築。 文部科学省</p>	<p>○リカレント教育エコシステム構築支援事業 (令和7年度概算25.7億円)【新規】 大学等が地域や産業界と連携・協働して、中小企業経営者や産業界の人材育成ニーズを踏まえたリカレント教育プログラムを開発・実施。 文部科学省</p> <p>○中小企業大学校における経営者・経営幹部リスキリング (令和7年度概算221億円の内数) 中小企業大学校で、経営者・経営幹部を対象にした、財務・会計、経営戦略、組織マネジメントなどの実践的な研修を提供。 経済産業省</p>
		直接給付	<p>○教育訓練給付制度 (令和7年度概算118億円) 自らデジタル分野等のスキルアップに取り組む個人への直接支援を拡充し、給付率を最大8割に引き上げ。 厚生労働省</p>	<p>○教育訓練休暇給付金及び新たな融資制度の創設 (教育訓練休暇給付金 令和7年度概算79億円)【新規】 (融資制度 令和7年度概算5.1億円)【新規】 教育訓練のための休暇を取得した場合に、生活を支えるための給付金を支給する制度や、雇用保険被保険者以外の者について、教育訓練を受けるに当たって必要となる費用を融資する融資制度の創設。 厚生労働省</p>

PF

マナビDX
(デジタル人材)

マナパス
(大学等の学び)

学び・学び直しGL
(職場における学び)

job tag
(職業に関する総合的な情報発信)

転職支援も含めた一体的なリスキリング支援の必要性

- 現在の労働移動市場ではリスキリング講座提供とエージェント等による転職支援が別々にサービス提供が行われており両者が接続できていないことが多いため、スキルアップを前提とした転職が限定されている可能性がある。

労働移動市場（現状）

リスキリング講座提供サービス

【サービス概要】

- IT・デジタル分野などを中心に、未経験からの転職を目指す個人に対してリスキリング講座を提供。

【課題】

- スクールを卒業した求職者のための寄り添った丁寧なキャリア相談・転職支援が十分に提供されないことが多い。
- 受講者としても、受講講座と転職との直接的な関係性を見だしにくい。

転職エージェントサービス

【サービス概要】

- 人材が転職先企業に雇用された場合に、転職先企業から年収の一定割合の手数料を受け取る。

【課題】

- リスキリングサービスが提供されていない場合が多く、スキルアップ無しで多くの手数料を徴収できるハイスキル層に利用者が限定される傾向。

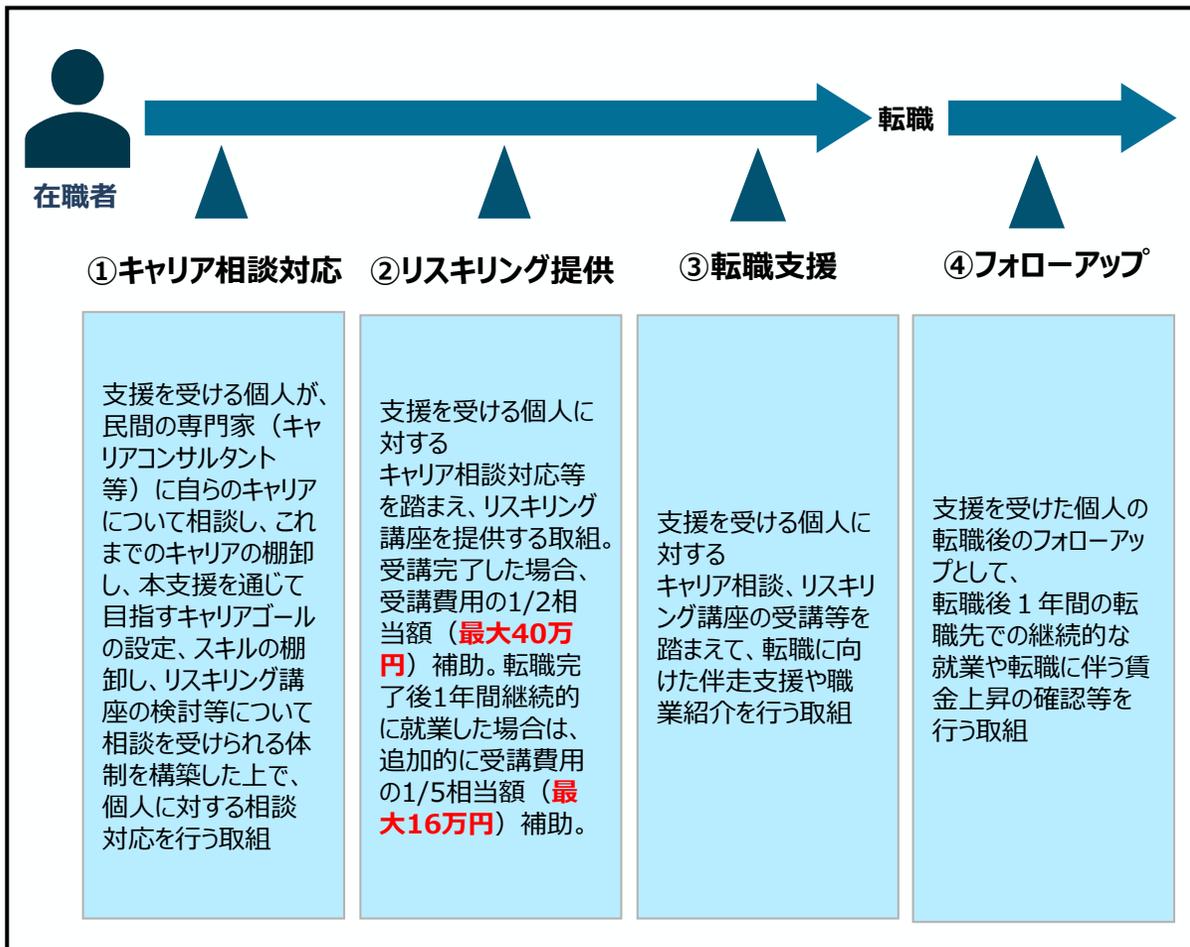
別々にサービスを提供しており、両者が接続できていないケースが多い

⇒リスキリングを通じたスキルアップと転職支援を一体的に行う必要性

リスキングを通じたキャリアアップ支援事業の概要

- 「リスキングを通じたキャリアアップ支援事業」（令和4年度・5年度補正予算：850億円）では、在職者のキャリア相談から、リスキング転職までを一体的に支援。企業間・産業間の労働移動の円滑化とリスキングを一体的に促進。

補助事業の概要



支援人数の推移



本事業の実績

- 本事業では**転職完了者の62.3%が年収増加**しており、一般的な転職者の賃金が上昇した者の割合（37.2%※）よりも大幅に高く、中には年収が**1.5倍**（約140万円上昇）になった事例など、**全体の25.7%が3割以上の年収増を実現**している。

※厚生労働省「令和5年雇用動向調査結果」

利用者の一例

- これまで環境関連会社で勤務していたところ、自分の強みを活かせる仕事をしたいと考え転職を決意。
- 3ヶ月のリスキリングを経て未経験からテック系コンサルタントに転職し、**年収も1.5倍に（約140万円上昇）**。

採択事業者の一例

【ミドルシニア世代の活躍促進】

- IT活用やDX推進、ビジネススキル等、ミドルシニア層のビジネス変革人材に特に求められるスキルを習得できるコンテンツを提供。
- これまで培った経験や強みを活かしてキャリア後半も活躍し続けるためにキャリアアップを志向する**40代・50代の在職者の転職を同世代トレーナーが支援**。

賃金が上昇した者の割合

転職完了者の**62.3%**が年収増加

